

港湾産別制度の危機、譲れないたたかい

全国港湾は日曜反復就労拒否に加え 4月15日24スト通告



東京都大田区蒲田
5の10の2
全日本港湾労働組合機関紙
(毎月1日発行)
一部20円 (組合員の購読料は組合費の中に含む)
発行責任者
松永英樹



一九春闘中央港湾団交は三月六日、三月二十日、三月二十九日と交渉を重ねてきた。しかし、業側からの具体的回答はほとんどなく「各社で対応すべきこと・・・」、「委員会対応・・・」等の域であった。産別制度賃金については「回答を留保する」、「四月九日に予定されている中労委あっせん期日までは何も回答できない」、事前協議違反の問題については、現時点では具体的な進展がないという業側からの回答であった。

しかし、私たちにとって最大の関心事である産別最賃の回答、雇用と職域を守る事前協議の回答なしには到底納得できないとして交渉は決裂、全国港湾系委員長は三月三十一日(日)始業時から二十四時間の就労拒否、荷役阻止を通告。そして、解決するまで日曜日毎に就労拒否、荷役阻止を反復しておこなうことを合わせて通告した。また、更なる上乗せ行動として四月十日(月)始業時から二十四時間のストライキ通告をした。

このまま交渉に進展が見られなければ、四月十四日、十五日は合計で四八時間のストライキとなる見込み。

全港湾の賃金回答、 昨年をやや下回る出だし

全港湾の賃金交渉は3月20日から25日を回答指定ゾーンとし各地方積極的に取り組んだ。データベースシステムの変更の影響等で集計に反映できていない地方もあるが、3月25日現在の回答状況をまとめると、回答額平均は速報分会で3,833円、闘争分会で3,495円となっており昨年をやや下回る出だしとなっている。ただし、その後、中央港湾団交の産別賃金交渉が進展しない状況となっていることから、各組合の個別賃金交渉も事実上進展がなく、全港湾の賃金闘争についても今のところ大きな進展は見られない。

速報分会回答状況：140分会中48分会(34%)に有額回答が示され、回答額平均は3,833円、率で1.28%となっている。参考までに、昨年の最終の回答額平均は3,993円、妥結額平均は4,059円であった。

闘争分会の回答状況：321分会中105分会(33%)に有額回答が示され、回答額平均は3,495円、率で1.25%、昨年同時期と比べると617円の減となっている。参考までに、昨年の最終の回答額平均は3,720円、妥結額平均は3,773円であった。

他団体の回答状況

連合の回答状況
3月22日発表の第2回回答集計では、平均賃金方式で6,475円、昨年同時期より33円の減となっている。

300人未満の中小組合では、平均賃金方式で5,183円、昨年同時期より285円の減となっている。

非正規労働者では加重平均で時給27.54円の賃上げ、時給単価は1,000.49円、昨年同時期より0.5円の増となっている。

国民春闘共闘の回答状況

3月25日発表の第2回回答集計では、加重平均で5,806円、1.88%、昨年同時期より額では123円の減、率では0.17%の減となっている。

全労済が6月より愛称「こくみん共済COOP」を使用します

全労済は、さらに「たすけあいの輪」を広げ、より多くの方に生活の安心をお届けするため、新しい姿を表す愛称を「こくみん共済coop」としました。協同組合の生活を支えています。そして、その取り組みを生活者へも広く展開していきます。皆さまのご契約内容等に変更が生じることはありません。また、お手続きも不要です。

危険な状況となっていくこと

・団結の力が今こそ求められている。
・イーク期間中の荷役対応については、貨物の滞留等が起きるとで労使双方了解となっていく。最終判断をしていくというところまで進んでいく。

(片柳悦正)


ZENROSAL NEWS

全労済が6月より愛称「こくみん共済COOP」を使用します

本年6月、全労済から「こくみん共済coop」へ

「こくみん共済coop」とは、「こくみん みんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する、協同組合(coop)である」ことを表しました。

全労済は、さらに「たすけあいの輪」を広げ、より多くの方に生活の安心をお届けするため、新しい姿を表す愛称を「こくみん共済coop」としました。協同組合の生活を支えています。そして、その取り組みを生活者へも広く展開していきます。皆さまのご契約内容等に変更が生じることはありません。また、お手続きも不要です。

全労済  こくみん共済coop

全日本労働者共済生活協同組合連合会

19港湾春闘、統一交渉で賃金引き上げ実現を 全国港湾中央行動、総勢210名が参加

三月十三日、十四日、全国港湾春の中央行動が開催され、立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党から激励の挨拶を受け、自由党、沖縄の風からは連帯のメッセージを受けた。十四日には毎年恒例となっている東京・丸の内デモ行進をおこない道行く人々に港湾の実情を訴えた。

糸谷委員長あいさつ要旨

主催者を代表して全国港湾の糸谷委員長は「今春闘の課題は大きくは三つある。一つは産別制度の中核をなす事前協議制度無視の問題。二月二日に問題が発生してからこの問題についての業側の考えは示されていない。二月二十八日の行動は延期したが、今日に至るまでまだ当該船社へ



の行動も見られない。これは延期した行動の再取り組みも止む無しであり、我々の雇用と職域を全力で守らなければならない。二つ目は産別統一交渉・港湾産別賃金の問題だ。業側は金額回答することが独占禁止法に抵触するとして統一賃金交渉を否定し続けている。しかし、労働組合は独占禁止法の適用除外である。公正取引委員会も中央労働委員会も労働法の権威である宮里弁護士も同じ見解だ。業界がその気になれば明日にでも解決できる話だ。速やかに統一交渉に応じて数字回答していただきたい。三つめは様々な労働条件・雇用環境の改善の問題だ。一九春闘の賃上げ要求は二万円・六%だ。例年の回答は全産業の平均にさえいかない数字でしかない。この様な状況を打破し、統一した賃金回答をきちんと行わせることを是非とも達成させたい。港運業界は、認可料金を復活させるべく我々とともに動き、適正料金を支払わせ、

賃金水準を引き上げさせてはじめて労働力の確保につながるということを理解してほしい。国交省には認可料金の復員から連帯のメッセージを受けた。挨拶のなかでは「政府は景気が戦後最長などと言っているが、労働者は誰も実感して喜んでいる。その理由を、報道されている通りの提起を受けた。」

院内大決起集会

十三日夕刻からは衆議院第一議員会館内大会議室において決起集会を開催した。来賓は駆けつけていたからだ。国民は欺かれていたのだ。金持ち運送事業基盤の安定に資する

州男議員、立憲民主党から西村智奈美議員、辻元清美議員、日本共産党から宮本岳志議員、山添拓議員、社会民主党から吉川元議員に駆けつけていただき激励の挨拶を受けた。また、自由党の森ゆうこ議員、沖縄の風の糸数慶子議員から連帯のメッセージを受けた。挨拶のなかでは「政府は景気が戦後最長などと言っているが、労働者は誰も実感して喜んでいる。その理由を、報道されている通りの提起を受けた。」

院内大決起集会

十三日夕刻からは衆議院第一議員会館内大会議室において決起集会を開催した。来賓は駆けつけていたからだ。国民は欺かれていたのだ。金持ち運送事業基盤の安定に資する



フクシマ連帯キャラバン団となり、福島、茨城、新潟、長として参加してきました。東京で現地視察、自治体要請、東電、省庁申し入れを行って来ました。

東北地方青年婦人部小名浜支部 武田陽介

十四日は結団式を行い、十五日は福島県いわき市の「放射能市民測定室たちね」を訪問し、いわき駅前前街宣及び街頭アンケートを行いました。この施設は二〇一一年に開所され、スタッフの方から「目に見えない、感じないからこそ、可視化して子供の安全を守っていききたい」との話もありました。国が指定していない地域でも、放射能の危険性に恐れている人達がいる事を知りました。

十六日は、「福島二〇一九原発のない福島を！県民大集会」へ参加、福島駅前前街宣及び街頭アンケートを行いました。二日間の街頭アンケートは「原発は必要だと思いませんか？」という内容で取り組



み、どちらも昨年より原発について「わからない」と言う方が増えた印象でした。当時小中学生だった子供達が「原発はどんなものなのか」を事故を経験した大人達がしっかりと伝えなかつたからこの結果だと思えます。

十七日は、浪江、富岡と現地視察してきました。帰還困難区域は震災時と何も変わっていませんでした。安倍政権は、原発事故が無かったかのようになり、補償の打ち切りや帰還困難区域の解除を進めていますが、避難している人達や住民を苦しめている実態がある事を忘れてはなりません。

十八日、十九日は、茨城「U PZ三〇キロ圏内周辺自治体への要請」と新潟「福島県庁要請・柏崎刈羽原発見学」の二班に分かれました。私は茨城県に行き「再稼働・広域避難計画」についての要請書提出をしてきました。県や市町村が考えている避難計画に、原発事故の教訓が生かされていないと感じました。住民を第一に考え計画を策定してほしいと感じました。

二十日は、東電、省庁申し入れを行いました各省庁は

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

フクシマ連帯キャラバン団長を務めて 東北地方青年婦人部小名浜支部 武田陽介

フクシマ連帯キャラバン団となり、福島、茨城、新潟、長として参加してきました。東京で現地視察、自治体要請、東電、省庁申し入れを行って来ました。

東北地方青年婦人部小名浜支部 武田陽介

十四日は結団式を行い、十五日は福島県いわき市の「放射能市民測定室たちね」を訪問し、いわき駅前前街宣及び街頭アンケートを行いました。この施設は二〇一一年に開所され、スタッフの方から「目に見えない、感じないからこそ、可視化して子供の安全を守っていききたい」との話もありました。国が指定していない地域でも、放射能の危険性に恐れている人達がいる事を知りました。

十六日は、「福島二〇一九原発のない福島を！県民大集会」へ参加、福島駅前前街宣及び街頭アンケートを行いました。二日間の街頭アンケートは「原発は必要だと思いませんか？」という内容で取り組

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)

諸課題、港湾政策に係る諸問題、港湾労働者の雇用と職域に係る問題、安全・安心の諸施策と港湾機能の活用、「港湾労働法の全港・全職種適用拡大について、港湾倉庫・特定港湾倉庫の指定のあり方について、港湾通過貨物対策について、コンテナターミナルゲート作業の職域について、港湾産別協定である『日雇い不使用協定』について、港湾労働の石綿被災対策について、異常気象による災害発生時に於ける救済策について、ILO(国際労働機関)条約勧告批准について」等の申し入れに対する回答を求め交渉

る。法律を補完する立場で臨んでほしい」と注文をつける。一定の理解が得られたように、すぐには解決できないとしても引き続き議論を重ねていくとした。

丸の内デモ行進

翌十四日は丸の内繁華街に集合し、道行く人に港湾の実情を広くアピールしようと千代田区労協との共催でデモ行進をおこなった。行進参加者は「大幅賃上げを行え!」、「港湾利用者は適正料金を支払え!」、「憲法改悪反対!」、「消費税増税反対」等々とシユプレヒコールを高らかに行った。(片柳悦正)